

小坂小が学校体育優良校として表彰

小坂小学校(吉見和洋校長)が、文部科学省および公益財団法人日本学校体育研究連合会より『学校体育優良校』として全国表彰を受けました。

小坂小学校は、平成23年・24年度に県教育委員会より『健康教育研究推進校』の指定を受け、一輪車や外遊びを推進し、児童の体力向上や健康作りに取り組みました。また、事業の一環として、平成音楽大学に依頼し、同大学の先生が考案したストレッチに、音大生が曲を吹き込んだ「小坂っ子体操」を制作し、全校体育の時間に取り入れ行っています。



上益城ボーイズの挑戦

硬式ボールを使用するボーイズリーグ(中学生の部)で、町内の中学生を中心に結成された上益城ボーイズ(岩本和明監督、16人)が快進撃を続けています。昨年4月に8人の部員で結成後、地道に練習を行い、結成11ヶ月後の今年3月にリーグに加盟。加盟後6ヶ月で出場した第15回火の国大会で決勝に進むと、4点差を追う最終回に打線が爆発し4点差をひっくり返しサヨナラ勝ちで優勝。

また、10月に天草市で開催された第5回天草大会でも決勝戦で相手チームを0点に抑え優勝し両大会とも県勢初の優勝となりました。

上益城ボーイズの挑戦はまだ始まったばかり。来年も上益城ボーイズ旋風に期待です。

【硬式野球を体験しませんか?】

小学6年生を対象に12月22日に硬式野球体験会を実施します。
詳しくは問い合わせください。

問い合わせ
岩本(090-4348-0256)



技能五輪洋裁の部で金賞

11月23日~24日、第51回技能五輪全国大会が千葉県で開催され、洋裁の部に出場した上中麻見さん(御船)が金賞を受賞しました。上中さんは昨年の大会にも出場し敢闘賞を受賞し、2回目の出場で金賞受賞となりました。

現在、洋裁の専門学校に通う上中さんは「縫うことが好きなので、大会でも楽しく作業できました。金賞は予想していなかったのでびっくりしました。今後は、結婚式で着るドレスなど、ずっと残っていく服を作っていくみたい」と笑顔で話してくれました。

「人生の最期」あなたはどう迎えたいですか?

11月22日、認知症ケア講演会がカルチャーセンターで開催され、約120人が参加しました。『「のさり」からみる老いのゆくえホームホスピス「われもこう」の活動から』と題して熊本保健科学大学教授の竹熊千晶氏の講演、実際に家族の介護と看取りを経験した橋本純子さん(木倉)の体験談が話されました。参加者からは「家族や自分の看取りについて考えるいい機会となった」など感想がありました。町では、家族や地域の人々に認知症への理解を深めてもらい、誰もが最期まで暮らしやすい地域づくりを目指しています。



はばたけ木倉 伝えよう未来に

11月23日、第21回ふるさとふれあい木倉まつりが木倉小体育館で行われ、地域住民約500人が参加しました。地域の若葉保育園や木倉小児童も参加して歌や踊りの披露や恒例の各区代表のかくし芸では、それぞれの区で趣向を凝らした寸劇や踊りなどで会場を盛り上げました。20年ぶりにがあーっぱ祭りで子供神輿が復活した西木倉区は劇で神輿を披露し、みごと大賞を受賞しました。祭りの最後はお楽しみ抽選会も行われ、多くの参加者で賑わいました。



商工感謝祭で嘉永井手物語

11月24日、御船橋下河川敷(お祭り広場)で、町商工会(福味総一郎会長)主催の第11回商工感謝祭が開催されました。今年も、来場者全員で挑戦する80mのカッパ巻きや水前寺菜料理コンテストなどが行われました。また、昨年の「郷土の偉人 林田能寛の八勢橋物語」に続く2作品目の紙芝居となる「嘉永井手物語～光永平蔵～」も披露されました。感謝祭では、商工会役員による書道パフォーマンスなども披露され、お祭り広場は1日賑わっていました。

